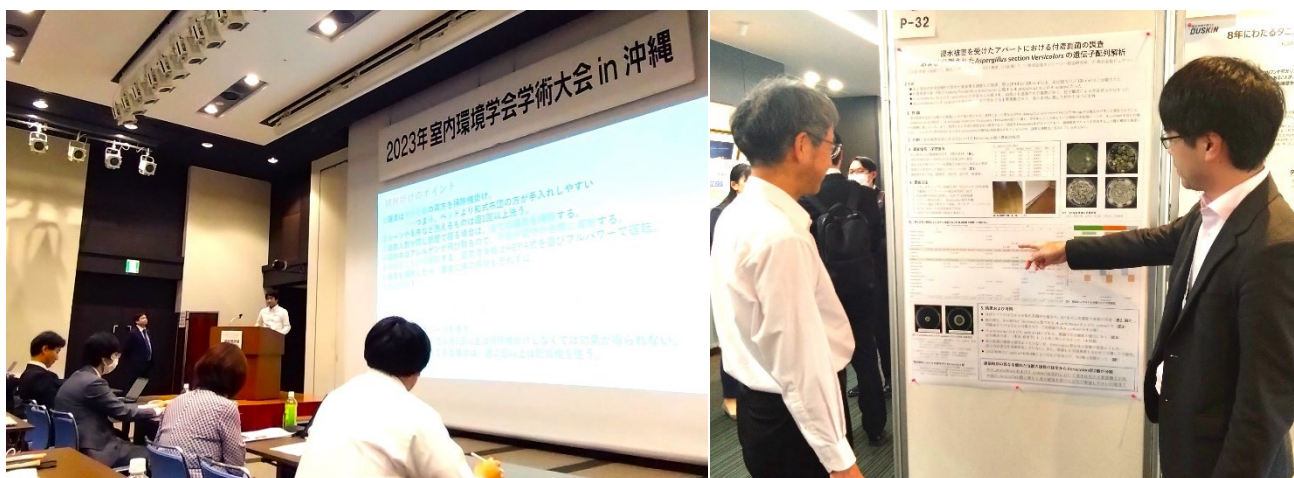


2023 年 室内環境学会学術大会にて当社スタッフが研究発表を行いました



沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市）にて11月29日～12月2日に開催された「2023年室内環境学会学術大会」に当社研究員2名（橋本一浩、小田尚幸）が参加し、研究発表を行いました（発表の内容は下記）。化学物質、微生物、微粒子など多彩な分野の研究者や技術者が約300名参加し、研究発表会場や懇親会で活発な意見交換が交わされました。

橋本は学会役員として運営に携わり、総会の司会進行のほか、セッション「微生物実態」の口頭発表6題の座長を務めました。

発表演題①：寝具のダニ汚染の抑制に必要な掃除頻度（口頭発表）=写真左

発表登壇者：橋本一浩

国内住宅の寝具の掃除状況を明らかにして、ダニの抑制方法について啓発しました。この発表は社内報”LABO31号”および産経新聞（2023.10.25）に掲載された記事をアレンジした内容です。

発表演題②：浸水被害を受けたアパートにおけるカビ調査（ポスター発表）=写真右

発表登壇者：小田尚幸

浸水被害浸水住宅で発生する真菌の傾向を明らかにしました。

浸水住宅の研究を行っている国公立大学やメーカー等の研究者と意見交換を行いました。